

【試合結果】

男子 決勝トーナメント 決勝											
日時	平成31年1月7日 (月) 13:00 ~										
会場	伊達市総合体育館 Aコート										
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; text-align:center;"> 釧路富原 釧路 ● </td> <td style="width:10%; text-align:center;"> { </td> <td style="width:10%; text-align:center;"> 16 - 31 16 - 15 19 - 11 21 - 17 OT </td> <td style="width:10%; text-align:center;"> } </td> <td style="width:50%; text-align:center;"> 札幌厚別北 札幌 ○ </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align:center;">74</td> </tr> </table>	釧路富原 釧路 ●	{	16 - 31 16 - 15 19 - 11 21 - 17 OT	}	札幌厚別北 札幌 ○	72				74
釧路富原 釧路 ●	{	16 - 31 16 - 15 19 - 11 21 - 17 OT	}	札幌厚別北 札幌 ○							
72				74							
審判	主審 富士 将史 副審 川島 貴裕 庄司 央										

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

釧路富原		釧路						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	鳥本 大河	×	14	2	3	2	3	3
5	安田 凌	×	14	2	2	4	6	2
6	中村 州兜	×	12	2	3	0	7	4
7	小田島 匠斗	×	30	1	13	1	7	1
8	畠山 凜久	DNP						
9	南部 龍樹	DNP						
10	金野 航大	DNP						
11	中野 子龍	DNP						
12	中村 悠聖	DNP						
13	松岡 駿人	DNP						
14	小林 樹	×	2	0	1	0	1	4
15	大竹口 颯汰	DNP						
16	鈴木 柊星	DNP						
17	二瓶 広羽	DNP						
18								
HC	鹿野 人嗣							
合計			72	7	22	7	24	14

札幌厚別北		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	千葉 遥仁	×	13	1	4	2	2	5
5	齋藤 瑛人	×	8	2	1	0	1	2
6	館山 由青	×	37	1	16	2	9	2
7	原中 大和	×	7	0	3	1	0	1
8	大久 衝	/	2	0	1	0	3	0
9	伊藤 仁	/	0	0	0	0	1	3
10	佐藤 宙彦	/	0	0	0	0	0	1
11	瀬尾 琉星	×	7	0	2	3	4	1
12	榊原 瑛人	DNP						
13	横内 彰栄	DNP						
14	山田 陸斗	DNP						
15	永井 拓心	DNP						
16	森谷 伍	DNP						
17	西村 洸人	DNP						
18	中川 拓海	DNP						
HC	篠原 正和							
合計			74	4	27	8	20	15

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

男子決勝は北大大会2位の釧路富原、南大会2位の厚別北の対戦。
 スターティングメンバー釧路富原#4.5.6.7.14 厚別北#4.5.6.7.11
 1Q:速い展開が得意な釧路富原、高さを生かしたプレーが得意な厚別北。先に流れをつかんだのは厚別北。#6.7のドライブから得点を重ね、開始2分で2-7とする。釧路富原は#7のドライブ、#4の3Pで応戦するも、厚別北#6のインサイドプレーや#5の3Pで点差を保つ。しかし、残り3分から、速攻や3Pなど厚別北が一気に点差を広げ、16-31で1Qを終える。
 2Q:状況を打開したい釧路富原が、#4.5.6の個人技による連続得点で好スタートを切る。残り5分で24-33と一桁差に追い上げたところで厚別北がタイムアウト。流れを切りたい厚別北だが、釧路富原の粘り強いディフェンスからの速攻が決まり、さらに点差が縮まる。残り3分28-35になったところで厚別北が前半2つめのタイムアウト。タイムアウト明けは互いに得点し合う展開に。しかし、ペイントエリアの得点に勝る厚別北が徐々に差を広げ、32-46で前半終了。
 3Q:両チームともスターティングメンバーで後半開始。釧路富原は#7、厚別北は#6の1on1で得点を重ねる。ディフェンスのプレッシャーを強め、相手のミス誘いを、#4の3Pや#7の力強い1on1で得点する釧路富原が残り3分で46-55と再度一桁差にする。互いの持ち味を発揮し合う白熱した展開が続く中、終了間際に釧路富原#7の3Pが決まり、51-57で3Q終了。
 4Q:開始から釧路富原が、#5の連続3P、#14の合わせで得点し、開始2分半で59-60の1点差まで追い上げる。なかなか流れをつかめない厚別北は後半1回目のタイムアウトを要求。タイムアウト明け、釧路富原はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、厚別北のアウトサイド陣にプレッシャーをかける。苦しい中でもしっかりとボールをインサイドまでつなぎ、#6が力強く得点して簡単にはリードを渡さない。しかし、釧路富原#6の連続3Pがきまり、残り2分で67-66の逆転に成功。互いに得点し合い69-67になったところで厚別北#4がファールアウトで苦しい展開に。両チームとも決定打に欠けるものの互いにフリースローを落着いて決め合い、残り48秒で70-70の同点に。最後は、釧路富原の厳しいディフェンスに負けず、フリースローやオープンショットを冷静に決めた厚別北が、72-74で南北決勝を制した。
 南北決勝男子決勝戦にふさわしい白熱した試合を展開した両チームに健闘を讃えたい。